

叡知

《学校教育目標》

「志をもち、主体的に挑戦し、未来を切り拓く生徒の育成」

～夢・挑戦・協働 三中～

「一学期を振り返り、未来への一歩に」

梅雨明けが待ち遠しく、日に日に夏の訪れを感じる頃となりました。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

早いもので一学期もまとめの時期を迎えました。生徒たちは授業や学校行事、部活動など様々な場面で仲間と励まし合いながら挑戦を重ね、一人一人が着実に成長しています。こうした日々の積み重ねを振り返り、次の目標へつなげることが大切です。

今月は全学年で保護者面談、3年生では進路も見据えた三者面談を実施します。一学期の学習や学校生活の様子を保護者の皆様と共有するとともに、ご家庭の様子もお聞かせいただき、お子様の成長を共に支えていく貴重な機会にしたいと考えています。夏休みの過ごし方や二学期以降の目標についても話し合い、一人一人が志をもち、主体的に挑戦する力をさらに伸ばせるよう、実りある面談にしていきたいと思います。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆不審者対応避難訓練を実施しました

6月10日、不審者対応避難訓練を実施しました。万が一の事態に備え、生徒一人一人が自分や仲間の命を守るため、実際の場面を想定して真剣に訓練に臨みました。本校



では、不審者侵入を知らせる校内放送のキーワードを用いています。このキーワードの放送が流れた際には、緊急事態の合図であることを全校で確認しました。また、小城警察署生活安全課の署員の方々を講師にお迎えし、教職員を対象とした実践的な対応訓練を実施しました。

体育館では、生徒に向けて不審者への対応に加え、近年



問題となっている闇バイトの危険性についても分かりやすくご講話いただき、防犯意識を高める貴重な機会となりました。

◆交通安全教室を実施しました

6月11日、小城警察署の北島様を講師にお迎えし、交通安全教室を実施しました。自転車事故に関する罰則や高額な損害賠償責任、あおり運転



の危険性、ヘルメット着用の重要性について学ぶとともに、盗難防止のための「鍵かけ」の大切さについてご指導いただきました。安全な自転車利用への意識を高めました。本校周辺の歩道では、自転車は歩行者優先を徹底し、徐行と思いやりのある通行を心がけ、安全な登下校につなげてほしいと願っています。

◆思春期講座

～自分を大切にし、未来を切り拓く力を育む～

6月19日、2年生を対象に、さが・子どもを守る会の坂本宏子様、山崎康子様を講師にお迎えし、「思春期講座」を開催しました。講座では、思春期は自分らしい価値観や生き方を築く大切な時期であり、自分の感情や行動を主体的にコントロールする力が求められることを学びました。



また、社会から信頼される人とは、自らの行動に責任をもち、努力を積み重ねる人であることや、自分の命は多くのご先祖様から受け継がれたかけがえのないものであることについて学びました。

「愛とは、手をかける、目をかける、気にかける、時間をかける、命をかけること」という言葉は、生徒たちが自他の命を大切にし、よりよい人間関係を築くことの大切さを考える貴重な機会となりました。

「愛とは、手をかける、目をかける、気にかける、時間をかける、命をかけること」という言葉は、生徒たちが自他の命を大切にし、よりよい人間関係を築くことの大切さを考える貴重な機会となりました。

◆3年生家庭科 浴衣着付け体験教室

3年生の家庭科の授業で、地域の着付専門家の手塚由美様を講師にお迎えし、浴衣の着付け体験を実施しました。専門的な知識や技術をもつ地域人材から直接学ぶことは、教科書だけでは得られない実践的な学びにつながり、本物に触れる貴重な教育活動です。



生徒たちは、浴衣を自分で着ることの難しさや楽しさを体感するとともに、日本の伝統文化や礼儀作法、和の心への理解を深めることができました。

また、地域の方との交流を通して、地域の文化を受け継ぎ、郷土への愛着や感謝の気持ちを育む機会にもなりました。ご多用の中、ご指導いただきました手塚様に心より感謝申し上げます。

◆中体連・コンクール・展覧会 激励会を開催

6月25日、中体連・各種コンクールに向けた激励会を開催しました。各部の代表生徒は、本番に懸ける決意や目標を力強く発表し、全校生徒も真剣な表情で耳を傾けました。



校長からは、サッカーワールドカップで日本代表を支える控え選手や、試合後に観客席のごみを拾い世界中から賞賛され、その行動が各国へ広がっている日本サポーターの姿を紹介し、「感謝の心を忘れず、自分の役割を果たし、最後までやり切ることの大切さ」を伝えました。

また、育友会を代表して今西会長様より、熱中症対策としてドリンクを贈呈していただきました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



◆中学校総合体育大会《開催中》

小城・多久地区中学総体に出場した皆さん、本当にお疲れさまでした。また、応援や準備で支えてくれた生徒の皆さん、保護者の皆さんの温かいご支援に心より感謝申し上げます。大会を通して改めて感じたのは、「挑戦」「協働」「感謝」の大切さです。仲間を信じ、励ま



し合いながら最後まで力を尽くす姿は、多くの感動を与えてくれました。

これから県大会や九州大会、各種コンクールや発表会に臨む皆さんも、それぞれの舞台上で全力を尽くしてください。



この経験を学校生活にも生かし、人とのつながりを大切にしながら、それぞれの夢や目標に向かって挑戦を続けてほしいと願っています。

◆平和の出前講座

7月2日、鹿児島県南九州市にある知覧特攻平和会館から語り部の川床剛様をはじめ3名の講師をお招きし、平和講演会を開催しました。



この事業は、小城市と南九州市が平成23年度から交流事業の一環として継続している取組です。



講演では、明日を生きようと願いながらも、その願いがかなわなかった特攻隊員の方々の遺書が紹介され、今日の平和と豊かな暮らしが多く人の尊い犠牲の上に築かれていることを学びました。また、命の尊さや親子・家族の深い絆についても語られ、生徒一人一人が平和の尊さを自分事として考える貴重な機会となりました。

9月に知覧を訪れる3年生にとっても、現地での平和学習をより深める意義ある事前学習となりました。

◆「科学の甲子園ジュニア」に9名が挑戦

本校では、この夏休みに2年生9名が3チームを編成し、佐賀県教育委員会主催「科学の甲子園ジュニア」佐賀県代表選考会筆記競技に挑戦します。



この大会は、理科や数学などの知識・技能を基に、実生活や実社会に関わる課題を仲間と協力して解決する力を競うものです。一人ではなく、互いの考えを出し合い、役割を分担しながら最適な解決策を導く過程は、科学的思考力や表現力、協働する力を大きく育みます。結果はもちろん大切ですが、挑戦する経験そのものが大きな学びです。実技競技への進出並びに全国大会出場を目標に、最後まで粘り強く挑戦する9名に、温かいご声援をよろしく願いいたします。